



三島ゆうすいマップ 2020



世界水遺産にも登録された源兵衛川では、人々の楽しむ姿が見られる。



三島の湧水は、富士山や周りの山々に降った雨や雪解け水が地下にしみこんで、三島溶岩流のすき間から湧き出したものです。富士山の周りの湧水地で最大のものが柿田川、小浜池、菰池などの三島周辺の湧水です。

三島溶岩流は、1万年ほど前に富士山の噴火で流れ出したもので、三島周辺が地表に出ている一番南です。この溶岩の間から湧き出す水は清冽で、昔から人々は暮らしや産業に利用してきました。そして、人々は「三島は水の都」だと誇りに思っていました。

富士山等に降った雨や雪が地下水となって三島に湧き出すまでに数十日から100年以上かかるなどいろんな説がありますが、大部分の水は7年前後で湧き出すようです。夏に多く、冬に少なくなるようで、季節的な変化があります。大雨が降れば、湧水量は多くなります。

しかし、昭和30年代半ばの高度経済成長期にこの豊富な湧水も涸れるようになりました。用水を多量に使う企業の進出、田畑の減少、道路舗装の完備、人々の生活様式の変化などから、地下水位が下がり水が湧かなくなったのです。これに驚いた人々が湧水を復活させる運動を始めました。それが、三島ゆうすい会やNPO法人グラウンドワーク三島などです。

令和2(2020)年は、なんとその湧水が約60年ぶりに復活しました。多くの方が、この湧水を実感されたことと思います。



貴重なハンノキの林が残る境川・清住緑地には湧き間も多い。



清住緑地が拡張され、展望デッキからは湧き間が見える。



蓮沼川(宮さんの川)上流の小水力発電装置に興味を持つ人も。



ミシマバイカモ保護の三島梅花藻の里では、16°C前後の湧き水。



雷井戸は、上水道ができるまでは近隣住民の飲料水だった。



凡例 ● 湧水がわいているところ ● ポンプアップのところ ● 湧水がわいているところ



発行：三島ゆうすい会

〒411-0856 静岡県三島市広小路町12-5 ☎ & FAX 055-975-6516
E-mail river@yusui.org URL <http://www.yusui.org/>